

## 学校だより

尾張旭市立西中学校

令和2年度7月31日

## 「夜明け前が一番暗い」

早いもので、学校が再開してからもうすぐ2か月が過ぎようとしています。しかし、夕方のテレビニュースでは、新型コロナ感染者数の増加について報じられる毎日が続いており、感染の広がりが懸念されています。7月28日の朝、校内放送で以下のような呼びかけを行いました。

『すでにニュース等で知っている人も多いと思いますが、市内でも新型コロナ感染症の感染者がでたことが確認されました。全国的な感染の波が尾張旭にも迫っています。自分たちの近くで感染した人が出ると、「不安や恐れ」から間違った情報や噂、想像から「偏見や差別」が起きることがあります。もし差別的な言動、デマを見聞きしても、確かな情報に基づき自分で正しく判断し、決して同調しないでください。正しい判断ができなくなってしまう「心にかかる感染症」を広めない約束をしてください。そして、普段の生活を今一度見直してください。自分の大切なまわりの人たちに感染させないためです。もうどこで、誰が感染してもおかしくない状況になってきています。そんな中、心も身体も、感染しない、感染させないレベルを上げた行動を、しっかりとお願いします。』

夏休みを目前に、こんな話をしなければならないことはとても残念ですが、コロナ感染症に関して今一度対策すべき時期が来ています。これからの生活習慣や夏休みの過ごし方について、ご家庭での話し合いをお願いします。

イギリスの諺(ことわざ)に「**The darkest hour is just before the dawn.**」というものがあります。日本語では、「**夜明け前が一番暗い**」と訳されることが多いようです。夜の真っ暗な闇は、明るい太陽の光で終わりを告げ、夜は明けるものです。しかし、太陽の光が差し込む瞬間まで、あたりは暗いままです。

人が困難に直面した時、そこから抜け出そうともがいても、状況が良くならないむしろ悪くなっていくことがあります。そして、悪い状況が長く続けば続くほど、人はあきらめてしまいがちです。しかし、光はすぐそばまで届いていることも多いです。そうやって考えると、ちょうど今我々は、夜明け前の暗闇の中にいるのかもしれません。また、「明けない夜はない」とも言われています。いつか必ず夜明けは来るものなのです。

いつもの年より短くなった夏休みを迎えます。こまめな手洗いやマスクの着用、3密を避け、感染しない、感染させない行動を心がけながら、やがて来る夜明けを待ちたいものです。

校長 前野浩司

## く 学校のようす >

4月、7日に入学式・始業式が行われました。しかし、翌日より新型コロナウイルス拡散防止のため臨時休校となりました。桜の花や花壇のチューリップは元気よく咲き誇っています。しかし、見て微笑んでくれる人はいません。24日大きな虹が出ました。

5月になると、全職員で動画配信に取り組みました。作成した動画は全57本。学校の図書室で学習する人もいます。学校再開に向け、ソーシャルディスタンスや消毒ポイントなどの掲示物を作成しました。19日から分散登校が始まり、教育相談で心のケアをしました。



6月、再開後の学校では、慌ただしく毎日が過ぎていきます。授業時間確保のため、毎日ほぼ6時間授業が行われています。授業後は校内の消毒作業を行います。3日生徒会役員選挙、4日部活動会議、16日~部活動見学・体験、20日PTA委員会、26日部活動本入部、24日進路説明会、学校に活気が戻ってきました。



7月になり梅雨の長雨。たまの晴れの日は、気温の急激な上昇です。1日部活動アルバム写真撮影、2日生徒総会、4日~部活動3中大会、15日ペットボトルお茶搬入、16・17日期末テスト、20~22日あいさつ運動です。夏休みは、8月から始まります。

